



# 営農NEWS



## 台風10号襲来の備えと通過後の被害軽減対策

台風10号が日本列島南の太平洋上にあり、7日の夜から8日にかけて関東に接近する予報が出ています。万が一に備え、強風雨の被害を軽減する手段を事前に確認し、通過後は状況に応じて必要な対策を実施してください。

### 1 事前の対策

- 1) 排水の悪い圃場や施設では、周囲や圃場内に明渠を掘る。また、排水用のポンプなどを準備しておきます。
- 2) パイプハウスなど施設は、ハウスバンドや被覆資材の取り付け金具などを点検し、強風等に備えてください。
- 3) 果樹園等でも、支柱やネットの強度を確認し、弱い部分は補強しておきます。

### 2 被害を受けた圃場の対策

- 1) 水田や露地圃場または施設内が浸水および冠水した場合は、速やかな排水対策を行います。
- 2) 作物に付着した泥はできるだけ落とし、損傷した茎葉は可能な限り取り除きましょう。
- 3) 果樹は、樹体損傷の程度に応じて、修復や被害果の摘除、損傷部への塗布剤による保護などを行います。
- 4) 土壌の乾き具合や作物の草勢を観察しながら、液肥の葉面散布や追肥後に中耕、培土などを行います。
- 5) 露地野菜などが風雨にたたかれると病害発生の原因になりますので、状況に応じて殺菌剤の予防散布に努めます。

### 3 病害の予防対策

- 1) 作物の病害対策として、使用薬剤の収穫前日数および総使用回数に十分注意して、防除に努めてください。

(令和3年8月6日現在)

作物名	主な防除薬剤
加工トマト	疫病 … アミスターオプティフロアブル 1,000倍 (前日まで/4回以内) [11とM5] <u>または</u> ホライズンドライフフロアブル 1,500~2,500倍 (前日まで/3回以内) [11と27] 斑点細菌病 … カスミンボルドー 1,000倍 (前日まで/5回以内) [24とM1]
ナス	褐色腐敗病 … ランマンフロアブル 2,000倍 (前日まで/4回以内) [21] <u>または</u> プロポーズ顆粒水和剤 1,000倍 (前日まで/4回以内) [40とM5] すすかび病 … ダコニール1000 1000倍 (前日まで/4回以内) [M5] <u>または</u> ベルクートフロアブル 2,000倍 (前日まで/3回以内) [M7]
ネギ	軟腐病 … スターナ水和剤 2,000倍 (7日前まで/3回以内) [31] <u>または</u> カスミンボルドー 1,000倍 (14日前まで/2回以内) [24とM1] <u>または</u> バリダシン液剤5 500倍 (21日前まで/1回) [U18] 黒斑病・べと病 … ダコニール1000 1,000倍 (14日前まで/3回以内) [M5]
ショウガ	根茎腐敗病 … ユニフォーム粒剤 18kg/10a 土壌表面散布 (30日前まで/3回以内) [4と11] <u>または</u> オラクル顆粒水和剤 2,000倍 1~3ℓ/m <sup>2</sup> 土壌灌注 (3日前まで/3回以内) [21]、 紋枯病 … バリダシン液剤5 800倍 (14日前まで/4回以内) [U18]
ヤマノイモ	炭疽病・葉渋病 … ペンコゼブ (ジマンダイセン) 水和剤 400~600倍 (21日前まで/4回以内) [M3] <u>または</u> ダコニール1000 1000倍 (30日前まで/6回以内) [M5] <u>または</u> トップジンM水和剤 800倍 (7日前まで/5回以内) [1] <u>または</u> Zボルドー 500倍 (—/—) [M1]
ダイズ	茎疫病・べと病 … ランマンフロアブル 1,000~2,000倍 (7日前まで/3回以内) [21] <u>または</u> プロポーズ顆粒水和剤 1,000倍 (21日前まで/2回以内) [40とM5]
野菜類 (ニラ、ゴボウ、オクラなど)	軟腐病・べと病 … Zボルドー 500倍 (—/—) [M1]
果樹 (ナシ、ブドウ、カキ、リンゴなど)	病害虫参考防除例を参照して、予防に努める

注) [ ]内はFRACの分類を記載した。

### 4 作物生育の回復対策 (葉面散布剤の使用法)

<葉菜類や根菜類>

- 1) メリット青 300~500倍 + グリーンセーフS 1,000倍を、3~5日おきに2回程度の葉面散布を行います。 または
- 2) ファイトオーツ-1,000倍 + ファイトマジック 1,000倍を、5~7日おきに2~3回の葉面散布を行います。

<果菜類>

- 1) メリット青またはメリット黄 300~500倍 + グリーンセーフS 1,000倍を、3~5日おきに2回程度の葉面散布を行います。  
※ 青・黄は生育に応じて使い分けてください。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※ JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



農機営農支援部 営農支援課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040